

大切な支援のバトンをつなごう

お子さんの支援が **つながる** ように



「個別の支援計画」

を活用していきませんか？

園では、着替えや片付けが少しずつ自分でできるようになり、集団の輪にも入れるようになってきました。でも、まだ手助けが必要な場面も多く、小学校でも、この子のペースに気づいてもらえるといいのですが。

ノートを取ることやみんなと同じペースで動くことが苦手で、学年が上がっても上手くやっていけるか不安です。この子に合った工夫をこれからも続けてほしいけれど、それを新しい先生にどう伝えたらいいのでしょうか。



卒業して社会に出る時、この子の得意なことや苦手なことを、職場の人はどう伝えたらいいのでしょうか。自分らしく働ける居場所を見つけ、ずっと支え続けてもらえるかが心配です。



<先輩保護者の声 Mさん>

進学や進級のタイミングは不安になるものですが、わが家は先生と「個別の支援計画」を作ったことで、目標や支援内容をスムーズに次年度へ引き継ぐことができました。



この計画書があることで、何度も同じ説明をする負担が減り、わが子の状況を正確に共有でき、子どもを安心して送り出せています。

<先輩保護者の声 Kさん>

「個別の支援計画」を作って一番良かったのは、どの先生が担当になっても、子どもが戸惑わずに過ごせるようになったことです。

支援の方法を共有してもらえたことで、「次はこうすればいい」という見通しが立ち、自分のことを分かってくれている安心感から、新しい活動にも自信を持って取り組んでいます。

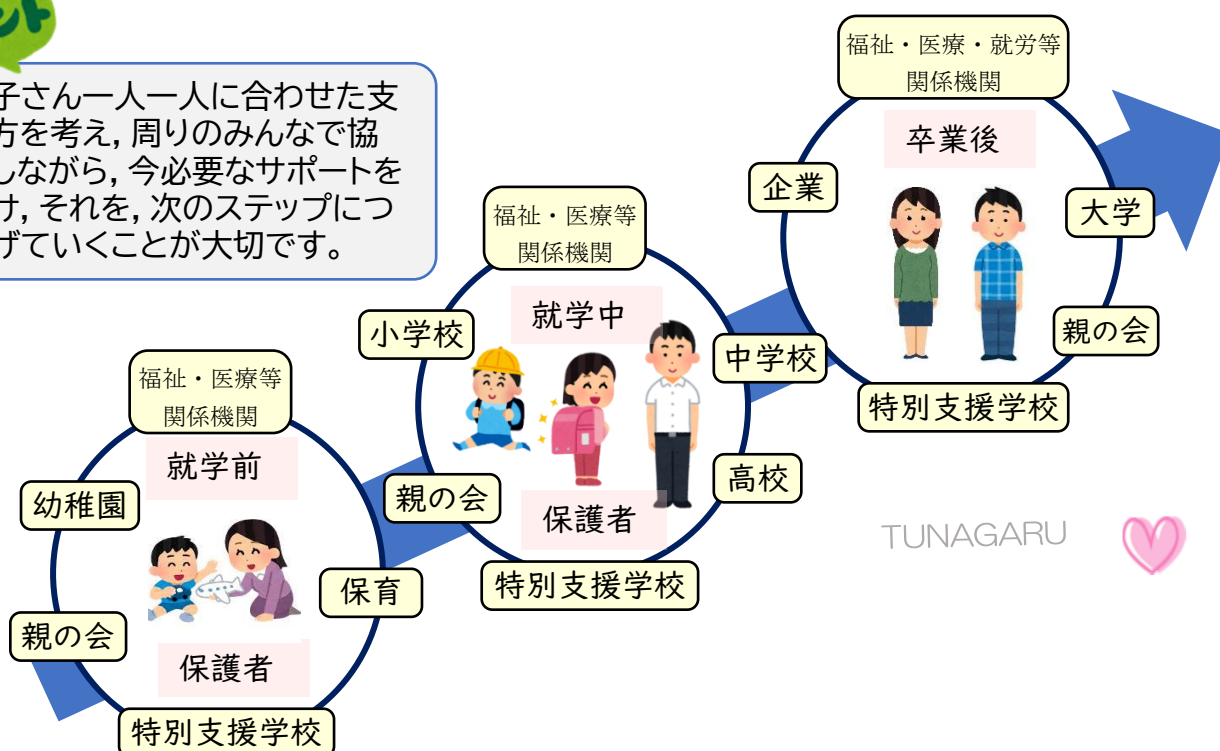


「個別の支援計画」ってどんなもの？

「個別の支援計画」は、特別な支援を必要とする子どもに対して、医療・保健・福祉・教育・就労等の関係機関が連携し、幼児期から就労まで、**一人一人のニーズを正確に把握し、一貫した適切な支援を行うことを目的**として、作成されるものです。「個別の支援計画」を次のステップにつなげることで、切れ目のない支援を実現することができます。

ポイント

お子さん一人一人に合わせた支援方を考え、周りのみんなで協力しながら、今必要なサポートを届け、それを、次のステップにつなげていくことが大切です。



「個別の支援計画」を作成するメリット

切れ目のない「継続的な支援」～縦の連携～

長期的な視点から、これまで受けてきた療育・指導・支援の方法を次のステージに確実に引き継ぐことができます。進級・進学で生活の場が変わっても、新しい生活のスタート時から適切な支援が行われ、切れ目のない支援につながります。

関係機関が「連携した支援」～横の連携～

医療・福祉・教育・就労などの関係機関が連携し、支援方針を共有することで、あらゆる角度から一貫性のあるサポートにつながります。

「個別の支援計画」の内容(例)

[利用施設等により様式は異なります]

個別の支援計画は、園や学校、福祉サービスなど、その時々環境に適した様式で作成されます。**園や学校では、担任の先生が中心となって作成しますが、保護者の皆さんと一緒に作り上げていきます。**

1 本人の情報

(ふりがな)		性別	学校名	宇都宮市立		
氏名						
在籍(特支は交流組)	1年	組		学級担任名		
	2年	組		学級担任名		
支援の場	通級の利用		かがやきルームの利用		多様な居場所の利用	

2 願い

本人の願い	お子さんの願いを踏まえ、支援のイメージを一つにすることにより、安心して環境に慣れることができます。
保護者の願い	

3 主な実態(支援を検討するための視点)

	うまくいっているところ(得意なこと・好きなこと)	つまづいている中でもうまくいっている状況
学習面	お子さんの様子を共有し、うまくいっているところを生かしながら、本人が自信を持って楽しく活動でき、「できること」を一つひとつ積み重ねていけるよう支援していきます。	
生活面		
社会性・対人関係面		
その他		

4 関係機関との連携(福祉・医療等)

関係機関名	支援の内容や検査結果等
	医療・福祉・教育・就労等の関係機関で受けているサポートや支援方針について共通理解を図っていくことができるよう、「つながるファイル」の情報や保護者の方から伺った情報を基に記入していきます。

5 支援の方向性【小学校では概ね2年後、中学校では卒業時をイメージして記入】

目指す姿

6 合理的配慮について(観点を選択し、記入すること)

	具体的な合理的配慮の内容
	合理的配慮の内容を明確にすることにより、一貫性のある支援を受けることができるようになります。

7 評価(小学校は、2・4・6年生の学年末、中学校は、3学年末に記載する)

--

ポイント

「つながるファイル」を活用しましょう

「個別の支援計画」を「つながるファイル」に綴じていきましょう。

これまでの個別の支援計画の内容を参考にすることで、成長の様子が一冊の記録としてつながり、今、お子さんに必要なサポートをみんなと一緒に考えるための大切な資料になります。



「つながるファイル」の詳細はこちらから➡

Q & A

Q1「個別の支援計画」は、いつ、
だれが作成するのでしょうか？

A1 お子さんの支援が必要な際、日頃
からお子さんを支える関係機関が中心
となり、保護者の皆様と一緒に作成しま
す。

Q2「個別の支援計画」を作成する
ことで、将来の進路(進学・就職など)
において、不利になってしまうことは
ありませんか？

A2 ありません。個別の支援計画は、お
子さんの将来の選択肢を広げ、成長を
支えるための計画です。確かな情報があ
ることで、適切な支援につながります。

Q3「個別の支援計画」は、なぜ作成す
る必要があるのですか？

A3 この計画は、家庭と関係機関が目
標を共有し、将来へ支援をつなぐための
大切なものです。お子さんの未来のため
に、一緒に作っていきましょう。

※障がい児通所支援事業所、特別支援学級や特別支援学校、
通級による指導を利用している児童生徒は、作成が義務付けら
れています。



Q4「個別の支援計画」には、どん
な内容が記入されるのですか。

A4 お子さんの強みや目指す姿、支
援の手立てなどを記入します。

Q5 「個別の支援計画」を作成した
後に、内容の変更や見直しをすること
はできますか？

A5 一度作って終わりではなく、成長
に合わせて見直しを行い、定期的に目
標や手立てをお子さんの実態に合わ
せた内容に更新していきます。

Q6 進学先には、どうやって「個
別の支援計画」の引継ぎを行うので
しょうか？

A6 保護者の方の同意の上で、在
籍している園や学校から、進学先に
引継ぎを行います。

令和 8 年(2026 年)6月発行
発行／宇都宮市
制作／宇都宮市発達支援ネットワーク会議

【問合わせ先】

宇都宮市子ども発達センター(就学前)
電話 028(647)4723
宇都宮市教育センター(小・中学校)
電話 028(639)4381

